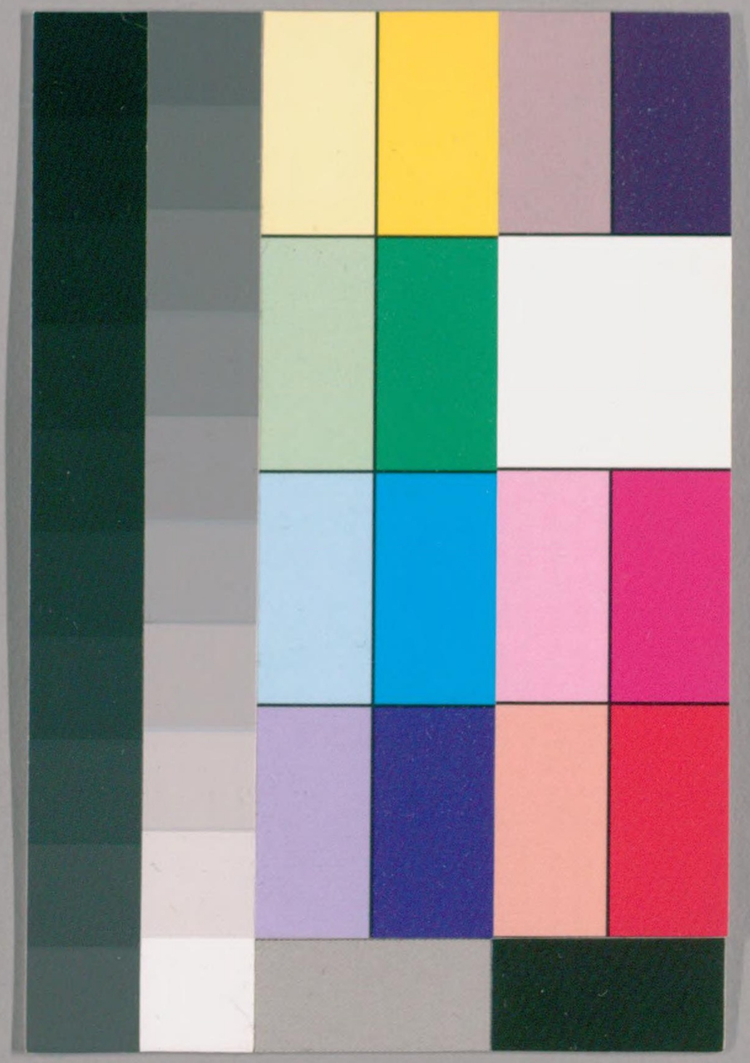

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

吉田修蔵氏 寄贈本

増補地錦抄巻之六

躑躅

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

851
5

かつぎ 仲中つぶん切返ふくぐい茅之中

あやぐ 独なでしこのよくくれるの切返ふくくして狩くうらのようひょう

団果 ひっさね根ふく茅之ゆくりり

ふやご発 独なでしこ根ふるやきひっくさ茅

嵐 白ふ元のうさわらくとありひっく切返き

唐よ 花ひっく浪うかつぶん花形のくありしし

おく葉 白ひっく花形白浪ぐうやきのほうよう

撫子発 そうせん全民このぐくいろちくふ

太神楽 石竹 ひっく根大ぶんふるよなのさうさうのこ

いろくうのさき

らせうん 石竹 こんぶ発ふくひっく大つぶん

花菖蒲 そうぶ

うれありて糸小葉とりせきちくのぐく根ぶかつんありり

太お祓茶 石竹 花形大祓茶のぐくふくて

さうさう風

紅羽衣 独なでしこ茶

花弁の白きゆうまそうさき

洋風 花のまうりうすりとれ

花弁白ふうまそうさき

ぜんじ　桜うすべにの
源氏　ふかのめ葉を
花のごとくに

あおひ　花形ふたつ
ぜんまい似
ふたつ合ふ

あおらう　花形ふたつ
絵工のあおらう
そっくり

こんぜう　花形のしべ
こんぜうの
ごとくなり

おそな　桜柏葉なれど
ふちのぎざぎざ
面よりうらへたたむごとく

六ゆう　ひろこのはさき
ふたつに
ふかく

浅黄　なかあさぎ
花形

うすかう　桜うすべにの
ひとへのごとく

ねじばな　桜うすべにの
花弁のごとく
こまかにあり

種ごま　種ごま色黒
ちと柄ある
花形

この種ごまくさのごとくなり

種ごまくさ　種ごまくさぎ
のやうなり

栄八重　もっさりと
せんやう少
あつく見ゆ

白やう　白く桜うすべに
花あさぎ

白鷺　桜花白く
きっさぎ

海せうぶ　花ふかみどり
葉広く白き筋
ありて花
うすむらさきの
葉のごとくかさなり

うすぎぬ　うすべにの
うすし

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

小ぶり　梔花うすかう　それのさゝ
　ありおもん

含そう　梔花うすかう
おのらゝの実
　もそばみ
　乃花形のくろもん

智うの　梔花うすく
　むらさき
　乃ようたる

千そう　むらさき
　すゞ　あり

ゆう夜　うす紫の
　花

志の佐　梔花うすかう
　ふくまそ紫の
　みりとひへ
　んすゞなあり

わこのて　梔花うすかう
　かうさ文よく
　たてよ佐まて
　わこの目のごく

ゆぜん　梔花乃ごとく
　さゝいろ
　多まあり

あそ乃　れ

蓑の祭　梔花うすき
　やまぶき
　ありひの実の

ゝくに多く春さき
あをへの実実のごとく
　あり

綾帽子　うすむらさき
　うすむらさき
　花びら
　ゆうとさごろ

笑の色　梔花うすき
　うく桜乃
　ごとき

ゝのうえ

緑裏羽　うすくさの
　羽色なる
　ふくろ
　乃ごとく

綾笹　うすむらさき
　あをすゞ
　すれ目の
　ごとく

さる捕　かさいろ
　こむらさき
　のさゝ
　ありとさごろ

毛返花菖蒲　花びら

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

百合 ゆり
夏中未
おそろ 花形筒大分
うのこのゆりまで
夏ころ
花の内うす赤さき色
夏中未
白かのこ 白色斑ありまだら迫
春末
高雄 たかを 花弁のそりさき花形
○そら迫ゆりのろひ
ころおごり
白小倉 白さまだらこん
あんけうりか倍ゆり
大ごん あかごんひの花形大ぶん

春末
ひろば 花あかく花中もまく花形よう
そをとうけそひしく
春末
そら見 花うす紫まだら白色あり
葉かそ長う葉のそり
ひくくすこき

わざころの 夏初中
紅筆 べにふで 花のかたちのわざころり
あづま菊 花ちいさ
うすむらさき
○そら迫わざころの
あかがの うすむらさきいろ
やうまもかめり
うすだて こいむらさきふち
おくだてぼかし
武州染 むさしぞめ 名物
天南そのあかのそくえもかちぐひあり
白わび巻 花も葉ともわびまきそ迫

あひ 夏初
ちゝ草 葉ほそく茎ハ大きく
九月切迄ある
あれすげ 夏中
ひるむぎ 葉も花をも
ひるがほ 花ちいさく
花ハ白くあるひハ
あかし
夏中
森の下 夏初
花もうつくし
かりもの

ちゝ草 夏初
大石あやめ 白のあやめ
つゝのあやめ
ろそく 花ちいさく
うすむらさきの花あり
ひるむぎ
たちあふひ
三葉 花ちいさく
あかひのごとく
うすむらさきの花あり
かりもの

白うが うがさうの花
もろし
うすはぐ 葉らん草よの
うすはぐさ
ぐらん 葉形海苔よの
ごとくもん
ぐらん 葉まるく根を
竹のかうよ
ほそながくして垂
風らんのごとく
かつら葉 葉形か
つらのごとく

村千草 夏初
葉ハ風らんの
ごとく花形ハ
ちゝ草よりも小ぶり
えんそう 花ちいさく
ほそながくさきそろひ
地をはう
芝浜 こぶしまりの
ごとくの実なり
葉ハ花ともに
ちゝのごとく出ル

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

水草之部

天竺蓮（てんぢくれん）　葉ハ蓮の如くにて天竺より来る故の名也

慈姑（くわい）　花ハ白く葉ハ矢の根の如くにて水辺に生ず

慶雲水葵（けいうんみづあふひ）　水あふひに花ハ慶雲の如し

八重姫慈姑（やへひめくわい）　葉ハ慈姑のごとくにて花ハ白く八重咲也

白六葉（しろむつば）　かたちハ六葉のごとく花白くかうがいの如し

食芋（くひいも）　葉ハ蕗の葉のごとくにて根ハ芋のごとくにして食ふ

鮮芋（すきいも）　葉ハ蕗のごとくにて茎ハ小さんげのごとく薄紫色也

蒲（がま）　水辺に生ず葉ハ菖蒲のごとくにて長し花ハ穂をなして黄色也

鎌（かま）　葉ハ蒲のごとくにて花ハ穂をなして白し

○右之外水草多し

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

草花春之部

名の下に初中末乃三字のハ春の季を三旬ト
たとへハ正月分の花咲るひを初と云三月に花咲を中
さいひ三月に当月分の後を末のうん
もろもろ

福寿草 初中

くくじゅそう 花全く龍多く重
なり小菊のごとし花軟に開く
初めより末まで花絶ることなし又好んで
多く分植するの二日草ともふくじゅ草ともふ花也
の花也

白福寿草 中

花形福寿草のごとし色白し
茎立ちいさくして一分に花一
つ又二つでさかず。ほのぐらし
の花也

菫菜 初中

すみれぐさ 花色自さまざまあり
菫菜ハ花ともに小さし

児菊（初中）　こいぬ菊ともいふ花形ちいさく丸形にして葉ハ粉のごとくにてこまかし

一日草（中）　一名二日草ともいふ

おかろかや（中未）　花全体ハ蘆ニ似てちさくようさ地あり

花蟹（中未）　花形ちいさくのけまんのごとく枝ごとに多く着花ハ黄色ニして白ニ赤ふちあり

山吹草（中未）　花黄色を龍胆のごとし

ゆうがほ菊（中）　花形ハ朝顔ニ似て小さく葉ハ大ニ多く咲小菊ニ似て葉をこまかにちりてあり

佛菊（中未）　花形佛ノ毛ニ似たり又ハ白の二種あり

八重かすみ（中未）　花形ハ菊ニ似てちいさし

他倫菊（中未）　花形ハ菊ニ似てちいさく枝ニ多くさきちり葉ハ黄色ニして白ふちのごとし

金盞花（中未）　花形ハ菊ニ似て黄色又金盞花ニ似たる者ハ相州の名産にて繁茂ハ冬中花ありて葉ハ蓮ニ似てあり名を

但基萩（中未）　花形大豆のむしにて葉又萩ハ一名そらまめともいふ

まつよひ草（中未）　花形ハ宛然の如く化粧の具のまいくさのごとく又白し

わすれなぐさ（初）　花ハ黄色にして筒ありて実ハ小角のごとし

白ちごの花（初中）　花ハ白ちごの花ニ似たり

沢桔梗（中未）　花形菊花の丁子咲のごとくして葉ハ桔梗のごとし

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

蓮 初 花白小弁のごとく葉ハ菜のごとし

おごまき 中未 花形ほうづきのごとくにて
咲ク夕ハ一ツ〳〵ささぶきのごとく
重ク〳〵のごとし

初中 花ハ菜と白の二種ありくきだちハ
こんぐいの花のごとし

春菊 中未 花形きくのごとくひとへ
みそなぎ中ハ今ハ多しまるもろ〳〵

紅菜 未 六月 花形ハ菜に似て
ハ菜ハ多し

踊子菜 中未 花ハ菜のごとく編ミ立ル
このごとく編ミ立ル

布袋菜 未 花形ハ〳〵にて先ハ
貝の形のごとくなりひきさきありて
なハ一ツにつゞいて咲

熊笹菜 ま 花ハ菜のごとく白キ

眉作り 中 花形まいてさくハ
白し〳〵ハ菜ハおそくさくと云

初中 花ハ菜にそひあがりて
ハ菜ハ約者にんさくといふ菜乃
ごとくなり一ツにつゞいて莖さきて咲
ハなをひとつにさくものあり

敦盛菜 未 花形ハ〳〵にて先ハ
菜のごとくにて咲ク時ハ一ツにつゞいて咲

矢筈菜 中未 花黒ク菜ハ小ツゝん
菜ハ小ツゝんひのごとし

春すゞしゆり 未 ハ夕ハ一ツ〳〵天ぢくに
咲ク夕ハ一ツにつゞいて咲ク

まりこゆり 未 花ハ菜にそひあがりて
ハ菜ハ約者にんさくといふ菜乃
ごとくなり一ツにつゞいて莖さきて咲
ハなをひとつにさくものあり

花菜子 未 五月 花黄ニ自・牡丹・うす
もゝ色ひとへ八重ありさくものあり

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

びんぐ 未 茅之花形けしのごとく
黄人茅 小つくれるもいと
よく白ふさ一をわり
九輪草 ○円葉茎分岐氏
れるいわり。係童花。七月
葉もとのごと

ちゃん 初中 葉いちやのごとくして
春蘭 花形もまた乃ごとく

ひめやが 中未 花形もやはとめ
姫萱尾 のちさきおもと小杜若
ともつふもなうすむらさき

ちょこ 来 花もまたちょこんさう
節度花 のごとく四葉もつ咲

ふたまたぎぼし 未
四季杜若 むらさき

すずしろやが 未 花形もやはりなでしこ
勿忘草尾 葉ハ白ありなり

てんてんそう 中 葉ハこんもりとなりて
天南星 花白くひとさきつゝ
茎有こぶ

ふき 中未 花黄色茎太く小さく
蕗のとう 葉のごとく分岐

○百合のるひ 近春葉まで分終

△草花葉之部

好色下ノ初中末の三字ハ葉ノ
形ヲ示ス

英精 中末 をおハ毎のごとく花白り
ありなり。ふき葉ハ
疫雷をのぞきて目
も茂葉なりゝゝぞ

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

葛すゝき 中来 冬あらそふて咲のごとくなれども秋のころまで花咲ゆへ秋すゝきといふ

薄ゆり 中来 白ろうそくのごとくなつて咲

黒紀 来 花ろうそくのごとくなれども花大ならず花おもたくうなだれさかさまに咲

白黄 来 花白大ならず花弁黄色のこと咲ず花大ならず

天目ゆり 中 花形天目のごとくなれども小さくして咲

なごゆり 中来 花を白大ならずうけて咲葩あつくそんそんてうのごとくなれども黄粉をふきされいならず

笠湯 来 花形くろだまに似て小さくうつむいて咲ず花大ならず

大湯ゆり 来 花弁のうれとくとがる大ならず

花咲こうもりてにくまれ口と

武蔵 初 花黄色あかうもゝ下へむきて咲茶人車のやうに二段ほどに付

なでしこ 来 花形すゝきゆりのごとく撫子てうのごとく咲

さゝゆり 中 野に生ず自然に芙蓉ぢゝ花ゆりなどゝ交ゆりなり

猿舎ゆり 初 花さゝゆりのごとくよ咲おてもなしよふにうつむいて咲

琉球 初 花白中ふんのこひさゝ咲花形もゝひろへひら

姫ゆり 初 花形ちゝんまりして小さく咲おうし

車ゆり 初 花形なりしゝ車につくるがごとく茶車につくるごと

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

くく 初 花形ひゆりのごとく久ゐ
唐ゆり 大ゆりよりうすくして
茎先くねりまがりてさく
もろこしゆり

うを 未
焼ゆり 花久まゝにてさく茎ほそく
しべ久ながく出て美
しくて久咲ひろがらず

未 花形久のこゆりに似
大ゆり て大ぶり大つぼん
大のごとし・ひらくのごとし

中未 花形みなゆりの八重
白百合 やうにて白きを
未 花久ゆりのごとくにて
くそつぼゆり 下むきにさく

えんでん 初 花形ゆりに同また
南蛮 えるのごとくゆりよりおそく
なる 未 久またつぼ黒かし
鬼ゆり 八ツまたゆりハなせんやう

うのこ 未
赤ゆり 花形ゆりにて茎ほそく
のりうぜんのごとくさく

中未 春はやくの白きを
白ゆり 花ごよりニ種ありて花中よ
美ありてもなきをよし
すべて美ありてよし

未 久わう黒のかげ
赤ゆり さくゆりなり

中 そつぼゆりのごとくにて
金沢 なみ 花形すこしゆりのごとく
うすわかし

初 花形ゆりのごとくにて
あちこ すこしゆりのごとくかこ
美わり

初中 花久下むきさくこと白
さゆり の二種ありおいづゆり
もゆるらし

未 花形久茎ほそく
紀伊戸 美ならず

未
うす茎戸 すべて美久

○桔梗 ひらけるハ行くさ
かたち茎戸なき

扇子折文　花ろりらんまた
扇子折扱ひ〳〵こ花七年こ
そ秋こ扇子のごと〳〵又また
九きハ允七葩八葩のも咲くを年
珍〳〵

二年堂　白ささきこけ　ろく

白二重　ろ〳〵ろく

ろきこ色　ろくさのやうにまろ
自花よふこともさく

白ぐんひ　花ろう　中末　○ぐんひのろひ

ぐんぐい　白き花よふ茶のさしまぜ
仁基　とび入わり

牡丹　花形ろ〳〵こそ三てをこそ〳〵
てうす待すこ久

ろり八重　こいひ〳〵ささせんやう

ひ茶二重　ひ〳〵こそこそ

沢　さけうこと　秋初中末　花形
名別ころり久ふたち
ささむまのろこひ〳〵こく

秋ぐんひ　中末　わり

秋七草　秋の見　初中　みあり
ものかりり天こ

白ろ七　ろるこうし　初中　花ろ七年珍〳〵

猪萩　赤紫　花ささ久ろゆへ猪ふ
萩節　〳〵とうふ
白ろとうふ

萩節　初中　ひささう茶紫花ろうろ
珍ろ萩ろささろ〳〵ろふ

小舎仙翁花　おうそんのう　むろ花ふ見ろ
ひろうわりそ
ろう〳〵　初中

黒節　ろう　中末秋　花ろまいり花形
ろまのあくろきゆろうろふ

扇節　ろのう　中末　むろ白みてろうくと
ひふりく白〳〵ろうろ咲ろ
ろう〳〵

白八重　初中　ろでしこ　ろでしこ
紅八重　初中　花ろまのやう

六九丁

初中
紫八重こいむさらにせんやう

未
かうべをでしこうすむらさきひとへ

初中
もそもむらさきひとへ

初中
梨
あをばのうつろせんやう

初中
うちあてしこいろまもむよをでしこ
むらさき

○石竹のうひ 初中
ゐさきちく
ゐさきちくハなびを植れるよりよせ
ふくさのうへにおく来新花の門へ入りそ寿乃なの極子よ
うりて名とうふくを門松寿名と宮て植他所へ売るを

初中
するが極子 りいろせんやう

未
白かうへ白ひとへ

初中
それをへ八重ひとへ
うすもへ白きものり

さざのそしこ初中
路の極子 白ひとへ

おらんだ 白糸さうさうのくろく足
ひとへおりたつもの

牡丹石竹 れんげせんやう

糸小袖 さうさうのくろく足
の内へおるすきとくの
八重工七袖をちぢけうるし
八重と一そもやう

○菜のうひ 中末
菜ものと 白ぬよい菜ものこのり
糸少袖のこと

浅黄 うすまおひとへ八重も
花のうりもの
枝こ添式もよう

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

気色ハお綿の気のごとし
香白菊やうとひとしくあり
うすべにをひとしくあり
初中
おもひ花中ん也花ハさくのごとしそよ
こりやう。葉。白。源氏。

○蘭乃ひ名未詳初

蘭と蕙と奇特ハ名好事家
とくみてよろ今葉源氏蘭ノ巻ニらよれ花のいと白きを

おなし神の名ニ又順和名ニ布知波賀萬新撰萬葉集別用藤袴二字文未綱
蘭草兼如麦門冬長及二三尺花開時満室盡香云時珍
日山谷所謂一幹一花為蘭一幹数花為蕙者益図不
知蘭草ニ遂ニ蘭花ニ強生分別ニ云ふ私ニ云藤袴花葉ノ如ク
蘭花香有リ蕙ハ今中絶ニテナシ其ノ後多ひね草ニ似タル
トテ多ひねシけいらの者あり誤リ蘭ト蕙ト藤袴ハ古
来三種アリ

大蘭
香ありて葉門冬ニるゝ蘭ニ
大蘭ハ多あり

小蘭
ゆきうりの内ハんくさ
ひめらん大りふ

白蓼
白蓼ハ葉ニ花も葉も白ニ
上トス今ハ中絶シてすく
なし一黒蓼。赤蓼。青蓼ナド

茶蘭 葉ハ仙蓼ニ似テ少ク狭ク又ハ花放ツ蕾ノ頃ヨリ大ニ香アリ

菖蒲蘭 ニハ大蘭ハ葉ノ形ハ菖蒲ニ似テ大ニ又ハ小ナリ

風蘭 葉ハ短クシテ厚ク白ク斑ノアルアリ又ハ全ク斑ノナキアリ

春蘭 葉ハ大キクシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

ばらん 葉ハ大キクシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

本草綱目馬蘭

石蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

沢蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

日光蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

時珍曰其葉似蘭大キク其花似菊葉故名俗称物之大者為馬

紫蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

黄蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡黄色ニシテ香アリ

○花菖蒲 葉ハ短クシテ厚ク花ハ淡紅色ニシテ香アリ

白蘭 葉ハ短クシテ厚ク花ハ白色ニシテ香アリ

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

村雲 白ひとへにすそのの
紅葉 ちるもみぢ
繍紬 ちるもみぢにまじりて
花せうぶ ちるひぐらし

○白昌蒲 初

茅萱 おほ花せうぶのごとく
菖蒲 葉 菖蒲 杜若
教草 杜若の
名前ちがひのみもし
茅萱 ひとへにすそのの

白昌蒲 花の中央
將軍 めしのり
花までおやめろひ

一物なり花形杜若の
ごとくにやうの二種あり
白昌蒲 花も葉菖蒲
白青二色 白き物は
ここにいふ花菖蒲なり
菅草 菅草に煮食ハ安五臓令人
好歓楽無憂軽身明目去
菅草ハ物もありて
中末
日光菅草 菅草に
ここのごとくなり
末
こんにゃく 花あり
のごとくにの内ゲ
秋になり

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

唐糸　出来　花ゆりのごとくみそくおくれ花咲くすゑ糸のごとくなるすの実のごとくに天へさゝる

唐相　未秋初中末　葉は相に違ふまよまよあり　通用ふたつ花は相のごとくにのびて咲くおまへさきは三つ実あるものもあるものもあれども多くは相のごとくなれども相のごとくなれば相ならず

下野葉　初　花は白し葉のごとし

南京草野　中　そもじくさともみのせいひくさともいふ

葛葉　初　花も葉も下野草にまぎれやすし　但葉のかたちはやゝ丸くあつくして毛多し

初　花は白し葉は下野のごとくにして小さく毛多し

麻葉　幼　おくりの形ちくさのごとくにして毛あり

茱萸葉麻　幼　そもじくさともいふ

夏白　未　葉は麻のごとく花白し

初　文白し花形ち杉の葉のごとく

某葉　初中　花美文小さし

高の下　初中末　花白し

初　葉は下野のごとくにして毛多し

ざゝ百足　未　花梅のごとくにして花ざゝのごとし

唐ざゝ百足　初　さゝらうの葉ふたつにわれたるごとし

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

車三七 初 うすむらさきにあかき花形ちいさくまるくよりて車のごとし

中末 ひろう草 花葉ともに三七ようのびて咲

ろうろう 中 木香 花黄色菊のごとし 招八草のようなり

初 げんび草 ひくくさきて白き花葉もなよなよ柳の如し

中 ちいさき花を数のちさきりのごとく茅穂乃ごとくさき

末 花白し ちあきのごとく 猫草 花のごとくなるものこざかしり

初中 紅蜀葵 花形名のごとくうすくさきてかたちよく白紫ふち三重なり 葉は蜀葵に似たり

中 きんぎょう草 花葉ともに茅ふうにさきのちれるようなり

未 花葉ともにて茅ふうにてこざかしきのごとし

ひあふぎ 中末 花葉ともに茅ふうにさき実ありて花形八重皇帝のごとくまるく立花に似て葉形のごとし

天竺ひあふぎ 中末 花葉ひあふぎのごとし 一茎にいくつもさきてありてちいさくまるく茅ふうの様なりてうらやまんひあふぎよりは大きし

山部乙 初中 花のかたちくさきの初のごとく茅ふうなるもの

むやむやん草 初中 花ろうそくのごとくもうし

ろう人参 初 ろうのごとき花形ありて白茎の三稜ありて花葉ともに中の薬乃ごとくせんきゅうのごとく茎ともにからみあり

風車 初 花形ちいさくまるくして風車のごとくひらきて白し 茎ともに茅ふうにてこざかしきものなり

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

○ 勿忘草（わすれぐさ）

白わすれぐさ　夏（なつ）より秋（あき）まで咲（さく）白（しろ）

淺黄わすれぐさ

三葉勿忘草（みつばわすれぐさ）　葉（は）大（おほ）きく掌（てのひら）の如（ごと）し

白ひろごみ　葉（は）白（しろ）く葉（は）ハ勿忘草（わすれぐさ）に似（に）て小（ちひ）さし

南京蛍袋（なんきんほたるぶくろ）　秋（あき）

招搖（をがたま）　花（はな）白（しろ）し　実（み）ハひもろぎ

虎尾（とらのを）　花（はな）穂（ほ）をなす

芭蕉（ばせを）　花（はな）ハ蕉（ばせを）の如（ごと）し

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

黄菊（きくのきいろなる）

黄一文字（きいろなるいちもんじ）

黄芙蓉（きいろなるふよう）

南禅寺（なんぜんじ）

黄西施（きいろなるせいし）

蓮花（れんげ）

未の秋 ○水芙蓉（みづふよう）

唐蓮（とうれん）

未の秋 花白キハ大ニシテ八ツ葩ノ如シ

○菊類（きくのるい）

菊秋論（きくしうろん）

黄水揚（きいろなるみづあげ）

小牡丹（こぼたん）

たいさんぼくあげ

宇治川（うぢがは）

水揚妃（みづあげひ）

砂金（しやきん）

小菊（こぎく）

おりよりよりて

あらいなげ

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

金蓮蘂（きんれんずい）　未夏秋　花もて今年の物あらそふ

小蓮花（こはすばな）　中夏末秋　花白し葉水面に浮びて小くく

水芙蓉（みづふよう）　秋初中　花形梅花の如し

白水郎（しろみづお）　花白し葉ハ三稜ありて沢潟に似たり

睡蓮（すいれん）　未夏秋　花形梅花の如し

菖蒲（しやうぶ）　秋初中　花形梅花の如し

蓴（じゅん）　夏秋　葉ハ円くして水中より生ず

花時南湾私に舟を棹さして蓴を採る

夏雪（かせつ）　秋花

水芭蕉（みづばせう）　夏中より秋末に至る　花今年の葉一ツ出て来年の葉ハ二ツ出づ

月宵草（つきよひぐさ）　夏中より秋末に至る　花今年の葉一ツ出て来年の葉ハ二ツ出づ

白芙蓉（しろふよう）　葉いかりに似て大きく花ハ芙蓉に似たり

ふとい　葉ハ水中より出て七八人手一つに抱ゆる程あり

芋（いも）　葉ハ円くして大也　焼き用ゆ

星草（ほしくさ）　冬春　葉ハ細くして中空あり

莖（くき）　葉ハ細くして中空あり

蓼（たで）　秋中　葉ハ大キクのびて花ハ穂ニ出ル

蒲黄（がまわう）　秋中　葉ハ蒲ニ似て長し　花ハ蒲燭のごとし

鬼灯檠（ほおづき）　葉ひろくもとゆふ　花ハ菖蒲に似たれども小さし

菖蒲（せうぶ）　陰地より出ル　葉ハ菖蒲に似て小さし

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

雉舎君萱 ゑぞりそく もろこし
ちゃんとたてず 枝さうし

唐石菖 ゑぞりんでうく ふきこし

芝 ゑぞのおのひのちくさ
やうみて 車こけ 苔の
下より生ずるの

稲 ゑぞ
をおくそうくの稲を
いふせのひく

あづま
東石菖 ゑぞ 葉うらくさまに
そうく斗 かれもち
ちゃんとたてず 枝さうし

琉球 かく 女きさせうのうひ
ゑぞおおこくまろ

蛇床 ゑぞ 水上こう
うこそせうし

蛭床 ゑぞ おかうのひのごく
まて うむこそのこ
そあり

かるも ゑぞ

○社君 くさうぐさ 物中

羅生門 ゑぞ

鶏の尾 ゑぞ
葉あり ちぢのごく 茎
とこまひづよへ ちぢのごく
花もろうこんみく

橋姫 むこそのごく まそう
のこと 花あり 大きん

村雨 白花 ゑぞ
このごくうり

潮騒 むこそあさぎうう

四季咲 ゑぞ 久四季咲

白 白ふこ花あり この花
中ほ茎のさこうひを
なり白しおおろひほ上く

国立国会図書館　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』
ガラス使用

851
5

水芭蕉終

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

国立国会図書館　　請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用